

事例

時期	根・地上部の状態		対策
ミニトマト 8月上旬定植 10月14日撮影 3カ月後		・白い根が少ない。 ・底面に水が溜まり、茶色く傷んだ根がある。 【地上部の状態】 ・芽先が細く、樹勢が弱い。 ・10月でも遮光しないと日中萎れてしまう。	・一回の灌水量を減らす。 ・灌水の間隔を30分毎から、一時間以上空けるよう変更。 ・発根を促進させる菌体資材を灌注。
1月24日撮影		・主根、細根共に新しい根が多く見られる。 【地上部の様子】 ・樹に太みが戻り、樹勢も旺盛。 ・萎れの発生なし、玉肥大も良好。	
ミニトマト 7月下旬定植 10月14日撮影 1カ月後		・全体的に根量が少ない。 ・所々傷んだ根が見られる。 【地上部の状態】 ・着果負担がかかり樹が箸のように細い。 ・日中遮光をしないと萎れてしまう。	・灌水の間隔を一時間以上空ける。 ・間隔を空ける代わりに、1回の灌水量を100ccから120ccに増やす。 ・酸素供給資材を灌注し、発根を促す。
11月18日撮影		・新しい根が展開して根量が増加。 【地上部の様子】 ・萎れは発生しなくなった。	
ミニトマト 8月中旬定植 10月28日撮影		常に白い根が多く見られる。 【地上部の様子】 ・樹勢も良く、葉が大きい。 ・花が大きく、色も良い。 ・着果負担がかかっても樹が弱らない。	根の状況は、一週間ほどで変化していくので、こまめな観察が肝になります